

会議の名称	あま市歯と口腔保健推進協議会
開催日時	令和7年1月23日（木）午後2時～3時10分
開催場所	あま市役所 2階 E会議室
議題	1. 令和6年度歯科保健事業報告について 2. 令和7年度歯科保健事業計画（案）について 3. 歯と口腔保健計画の数値目標について 4. 歯と口腔保健計画に関する取組について
会議資料	次第 配席図 あま市歯と口腔保健推進協議会委員名簿 令和6年度歯科保健事業報告（資料1） 令和7年度歯科保健事業計画（案）（資料2） 歯と口腔保健計画の数値目標（資料3） 歯と口腔保健計画に関する取組（資料4）
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	下方委員、渡辺委員、伊藤委員、加藤委員、笛山委員、田中委員、横田委員、山本委員 (名簿順)
欠席委員	井村委員、木村委員(名簿順)
事務局	村上市長、吉川子ども健康部長、上村子ども健康部次長兼健康推進課長、加藤主幹、濱嶋主幹、井田課長補佐、水谷係長

会議録（要旨）

1. 市長あいさつ

2. 議題

(1) 令和6年度歯科保健事業報告について

事務局説明（資料1）

(2) 令和7年度歯科保健事業計画（案）について

事務局説明（資料2）

(3) 歯と口腔保健計画の数値目標について

事務局説明（資料3）

(4) 歯と口腔保健計画に関する取組について

事務局説明（資料4）

【質疑応答】

○加藤委員

資料1の18番以降の10020・9020・8020表彰ですが、以前は健康まつりの時に表彰していたが、今後は実施しないのか。自分も参加した時、ご家族の方が表彰していただいてうれしかったと言わっていましたので、是非復活して欲しい。

○事務局

何か違う形で実施できないか打診をしているが、例えば以前は敬老会があったが、今では表彰の場が無くなってしまった。市のイベントなどタイアップしながら出来る物があるか今後も調整していく必要がある。

○田中委員

資料1の9番の小中学校での歯科保健指導は、学校から要望のあった所へ出向くのか？また何校要望があったか。

○事務局

要望のあった小中学校へ出向いている。今年度は中学校が1校、小学校が2校から要望があった。

○会長

市内の小中学校は全部で何校あるか。

○田中委員

全部で17校。小学校が12校、中学校が5校

○渡辺会長

ローテーションで指導しているのではなく、希望のあった学校に行っている。希望のあった学校に行くのではなく、せめて健康推進課から学校に連絡する丁寧さが必要。歯科医師や歯科技工士が指導することも出来る。

○横田委員

甚目寺東小学校でバトンタッチ運動をしていたが、今年度限りで終わってしまうので寂しい。今後はバトンタッチと同じようには指導が出来ない。甚目寺東小学校は歯肉炎や歯垢のある子が多いので、歯みがき指導とともに、やってもらえると良い。

○渡辺会長

歯みがき指導をする環境と場が必要。美和東小学校はバトンタッチ運動が終わっても歯科指導を行っている。市歯科衛生士も講話している。金銭は関係無に続けることに意味があり効果がある。これだけの時間を使っている学校は、校長始め担当の保健指導の先生、養護の先生方のご苦労はすごいものがある。

○山本委員

年少対象の歯みがき教室はお父さんにも来ていただき、啓発している。年中年長においても市歯科衛生士が実際に子供の口腔内の様子を見て、歯みがきの大切さというところを継続してやっていく。引き続きお願いしたい。

○伊藤委員

あま市民病院の口腔外科は令和6年1月に歯科医師が赴任した。病院歯科の主な任務は①医科の入院患者の早期退院、早期社会復帰への貢献②障がい者の高次歯科医療としての全身麻酔治療③口腔外科手術の3つがある。名古屋市、名古屋医療圏及び周辺の医療圏では、現在全身麻酔での歯科治療をやっている病院は6つしかない。入院の約半数があま市在住。紹介受診の方が殆ど。

○加藤委員

大規模災害の歯科医師による運営をどうしていったらいいかというテーマがある。今朝も大きな地震があった。この地方でもいつ地震が来るか分からない。大規模災害が起きた場合、避難所での口腔ケア等で歯科のチームとして歯科技工士も参加する。